

校長の自慢 『盛んな ICT 活用』

本校の本年度の課題の一つは ICT 活用でした。「なんちゃって電子黒板」「タブレット端末」などの新しいスキルを駆使して、生徒たちの興味・関心を刺激する取組む先生方をここに紹介します。

まずは「なんちゃって電子黒板」。英語科の二村教諭は、研修で黒板に直接投影する手法を学び、教材作りを進めました。黒板に英文を映し出すことにより、その下にチョークで日本語訳を書くと出来ます。その効果として、生徒たちが黒板に目を向けるようになりました。また、英文を書かずに、その時間を机間指導に十分に当てることが可能になりました。黒板には英文だけではなく、写真なども出てくる工夫で生徒たちにも好評です。

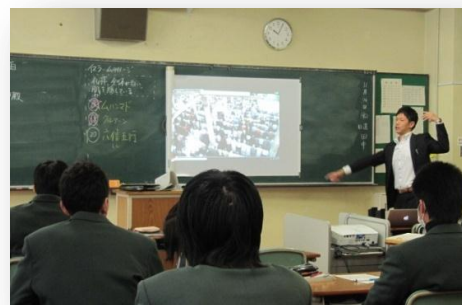
次はタブレット端末を使った授業。森教諭と中林教諭は、1年生の体育をティームティーチングでおこなっています。2人は、「撮影した動画が遅れて再生される」アプリを利用して、生徒に数秒前の自分自身の動きを画面で見せる授業展開をしています。



この日の実技はマット運動。練習用マット横にタブレット端末を置き、「8秒前の動作」に設定します。側転・倒立前転・後転倒立などをした生徒は、タブレット端末の画面を見に来ます。8秒前の自分のパフォーマンスを見ながら、先生の指導を受け、また急いでマットに戻っていく生徒たちの姿がとても印象的です。

英語や体育以外でも、ICT 活用の波は広がっています。社会科の田窪教諭は、普段から黒板にスクリーンを貼り、スライドやビデオを映し出しています。この日の授業は「イスラーム」。イスラームの国々の国旗の特徴を考えるためにスライドで示します。また、「巡礼」の様子を音入りのビデオで見せることにより、言葉だけでは説明できないことを目と耳で実感させています。

また、数学科の福井教諭も、2次関数のグラフを理解する一助として、スクリーンにグラフを映し出しています。「そうなんや」と大きくうなずく生徒たちが多数います。



生徒の学びたいという気持ちを刺激するさらなる ICT 活用に期待しています。